しょう　いん

掬陰

佐賀県教育委員会認可通信教育（教材）

2026年　11月号　No.844

2026年10月28日発行　デジタル版11月4日掲載

URL https/www.education.saga.jp/hp/sagakitakoukou-c/

佐賀県立佐賀北高等学校通信制課程
〒840-0851　佐賀市天祐二丁目６番１号
TEL　0952(23)2203・0952(29)4189
FAX　0952(29)4090

１１月スクールカレンダー		
１	日	
２	月	
３	火	【文化の日】
４	水	
５	木	
６	金	
７	土	
８	日	佐賀・唐津ＩＳ（人権・同和教育講演会）
９	月	月曜ＩＳ（人権・同和教育講演会）
１０	火	
１１	水	
１２	木	
１３	金	
１４	土	
１５	日	佐賀・唐津ⅡＳ
１６	月	月曜ⅡＳ
１７	火	
１８	水	
１９	木	
２０	金	
２１	土	
２２	日	
２３	月	【勤労感謝の日】
２４	火	
２５	水	
２６	木	
２７	金	
２８	土	
２９	日	
３０	月	佐賀・唐津１２月ＩＳ（受講希望調査）
３１	火	月曜１２月ＩＳ（受講希望調査）

１２月スクーリングと主な行事予定

11/29（日）佐賀・唐津第Ⅰスクーリング（受講希望調査）
11/30（月）月曜　第Ⅰスクーリング（受講希望調査）
6日（日）佐賀・唐津第Ⅱスクーリング（エイズ予防講話）
7日（月）月曜　第Ⅱスクーリング（エイズ予防講話）

20日（日）佐賀・唐津１月第Ⅰスクーリング
（生徒指導講話）
21日（月）月曜１月第Ⅰスクーリング
（生徒指導講話）



後期スタート
～「自ら学ぶ力」で一歩ずつ～

朝夕の風に少し涼しさを感じ、秋の深まりを感じる季節となりました。学校では後期の学習が始まり、スクーリングやレポートなど、日々の学習に少しずつ取り組む時期となっています。今号では、来年度の受講科目をはじめ、人権・同和教育講演会、三修生制度の説明会などについて紹介しています。表紙には後期入学式の一場面を掲載しました。（詳細は2ページに掲載）新しい仲間と共に、これからの学びをさらに実りあるものにしていきましょう。

校内で見つけた秋の実り



校内に植えられているオリーブの木に、実がなっているのを見つけました。枝先には、まだ鮮やかな緑色の実と、少しずつ紫色に色づき始めた実が並んでいます。オリーブの実は、成長するにつれて緑色から赤紫色、さらに黒紫色へと変化していきます。これからの季節、身の回りの自然にも目を向けながら、少しずつ深まっていく秋の気配を感じてみてはいかがでしょうか。



令和8年度前期卒業証書授与式

令和8年度前期卒業証書授与式が、9月30日（水）に挙行されました。振興会会長　中村賀寿夫様、振興会副会長　平田つたみ様、樟友同窓会副会長　川原妙子様のご臨席を賜り、卒業生2名のうち、1名が出席し、来賓やご家族、教職員に見守られながら新たな門出の日を迎えました。

式では卒業証書の授与に続き、池田忠徳校長が式辞を述べました。そこで語られたのは、人生には人それぞれのペースがある」というメッセージです。仕事や家庭など様々な困難と向き合いながら、長い年月をかけて学び続けた歩みを称えました。卒業する時期や成長の歩みは人それぞれであり、大切なのは他人と比べることではなく、自分自身の歩みを大切にしながら前へ進んでいくことであると述べられました。その後、来賓から温かいお祝いの言葉が寄せられ、校歌斉唱で式は厳かに締め括られました。式後には卒業生の川内さんから、これまで支えてくださった方々への感謝や、これからの新たな歩みに向けた思いが語られましたので、以下に掲載します。

ご卒業おめでとうございます

10月4日（日）、副校長室で、もう一人の卒業生への卒業証書授与が行われました。先生方が見守る中、卒業証書が手渡され、担任から記念品が贈られました。これまで積み重ねてきた学びが一つの節目を迎え、卒業生にとって新たな一歩につながる、温かな時間となりました。

卒業生からの言葉　　月4　卒業生

このような素晴らしい式を開催していただき、誠にありがとうございました。振り返れば、学校生活の中では楽しいことばかりではなく、勉強や進路について悩んだり、不安を感じたりしたこともありましたが、先生方や家族、仲間たちに支えられ、今日を迎えることができました。この学校で学んだことや仲間との思い出、高校を卒業したという自信を胸に、これからも自分らしく前へ進んでいきたいと思います。支えてくださった皆さんに、心から感謝申し上げます。

令和8年度　後期入学式



秋晴れに恵まれた10月1日（木）、本校雄心館において後期入学式が挙行され、38名の新入生の入学が許可されました。校長先生の式辞に続き、教育振興会会長　中村賀寿夫様、樟友同窓会副会長　川原妙子様から祝辞をいただきました。そのあと代表生徒による宣誓が行われました。池田忠徳校長の式辞では、通信制課程の学びは、自ら学習計画を立て、課題やスクーリング、試験に取り組む「自学」が基本であり、自分の力で学び続ける姿勢が大切であると語られました。また、通信制は決して一人だけで学ぶ場ではなく、さまざまな年代や経歴、経験を持つ仲間とともに学ぶ場であることから、お互いの違いを認め、理解しようとする姿勢を大切にしてほしいとの言葉がありました。式は厳粛な雰囲気の中で進められ、新入生のこれからの学びに大きな期待が寄せられました。

先生方や仲間とともに一歩ずつ学びを積み重ね、自分の可能性を信じながら、それぞれの目標に向かって歩んでいきましょう。

【新入生代表】

佐1B　新入生代表

このたび本校に入学し、新たな一歩を踏み出すことができました。通信制では、自分でスケジュールを組みながらスクーリングやレポート学習に取り組んでいくので、「本当にできるのか」という不安もありますが、自分の目標を見失わず、一つひとつのことに取り組んでいきたいと思います。私の場合は、仕事と家庭、そして学校生活の両立になりますが、分からないことや不安なことがあれば、同級生や先生方にアドバイスをもらいながら、諦めずに少しずつでも一歩一歩進んでいき、卒業を目指したいと思います。

来年度の受講科目を考えよう!2027年度の受講希望科目調査

12月ＩＳのLHRは、2027年度に向けての受講希望科目調査を行います。

【2027年度の受講希望科目調査】
既修得単位（すでに持っている単位）と現在受講中の科目の単位修得見込みをもとに、**来年度、新規に受講する科目を選び時間割をつくります。**
各自の既修得科目と単位は「学習のしおり」の最後のページに貼っている「通信教育受講申込書」で確認してください。
来年度、新規に履修する（学習する）科目は、**必履修科目を優先**して選んでください。
（必履修科目はp.6～7「2027年度　開講予定科目一覧」で確認すること。）
選択科目の学習内容については、下表「2027年度　選択科目の学習内容一覧」で紹介しています。
今回の受講科目調査は、最終決定ではありませんが、3月7日（日）の受講手続きに向けての大切な資料になります。本紙p.3～5をよく読んで新規に受講する科目を考えておいてください。

〈１２月ＩＳ持参するもの〉
①本紙「樟蔭11月号」
②今年度の「通信制教育受講申込書」（学習のしおりに貼付したもの）
〈受講手続き〉 2027年3月7日（日）13:30～15:30 場所　佐賀北高校

必ず参加しよう！

2027度　選択科目の学習内容一覧

教科	科　目	学　習　内　容
国語	文学国語	「文学国語」は、明治から現在までの小説・随筆・詩歌・文学評論など、さまざまな文学的文章を読み込みながら、自分自身の視野を広げ、考えを深めることを目的とする科目です。またそれと併せて、社会生活に必要な国語の知識や技能を習得するための学習活動も行います。教材の中には難解な作品もありますが、小説に出てくる登場人物の心情を想像したり、文学作品の主題や作者の思いを考察したりすることが好きな人は、ぜひ受講してください。
	古典探究	「古典探究」では、我が国の平安時代から江戸時代までの物語・和歌・日記などさまざまなジャンルの文学や、我が国に影響を与えた中国古代の故事・漢詩・思想書・史書などを学びます。現代とのつながりを中心に、難しいことは抜きで楽しく学んでいきます。「現代の国語」と「言語文化」を修得（履修）済みの人なら誰でも受講できます。
地理歴史	地理探究	「地理総合」を履修した後に受講できる科目（３単位）で、全９回のリポート提出及び１年間のスクーリングを実施します。「地理総合」で学んだ基礎的・基本的な学習内容を土台に、日本や世界で見られる様々な地理的事象や社会的事象、地球的課題を「地理的な視点」から考察理解し、探究していきます。経済・貿易をはじめ、環境問題やＳＤＧＳへの取り組みにみられるように、今日の私たちの生活は全地球的な関係の上に成り立っています。「地理探究」の学習を通じて今の「地球」や「国際社会」の現状を学び、地球的諸課題に対して正しく判断し行動できる力を養ってください。
	日本史探究	「日本史探究」は通年科目（３単位）で、「歴史総合」を履修した後に受講できます。「日本史探究」は、日本列島に生きた人々の歴史を、先代・古代から、私たちが生きる現在までを対象として考察することを目的としています。現代の日本社会に生きる私たちは、過去の日本列島に生きた人間のさまざまな行動の結果としてできあがった社会のしくみの中で暮らしています。こうした社会の仕組みをより良いものにして、未来をつくってゆくためには、過去のさまざまなできごとと向かい合い、それを理解することが必要になってくると思います。「日本史探究」の学習は、みなさんのそうした理解の手助けとなってくれることを願っています。
	世界史探究	「歴史総合」を履修したのちに受講できる科目（３単位）です。世界史探究は、世界の歴史の「大きな流れ」をつかむとともに、歴史に対する興味・関心を広げることのできる科目です。自分が興味・関心を持った事（出来事）に自分の方から近づいていく（つながる）ことができれば、新しい発見とともに「新しいものの見方」を身に付け、大きな「学び」を得ることができるでしょう。そして各々の歴史事象を、自分の問題として考えることができれば、歴史を学ぶ意義を実感できると思います。そのために、（暗記するのではなく）、問いを立て、史料・資料をもとに、自分で思考していく構成になっています。歴史について、大いに考えていきましょう。

教科	科　目	学　習　内　容
芸術	音　楽　Ⅰ	「音楽Ⅰ」では、歌謡曲やJ-Pop、Jazzなどのポピュラー音楽に親しむとともに、西洋音楽の起源から現代までの音楽史を鑑賞します。また、楽譜の読み書きに関する基本的な諸規則（楽典）を学習します。実技は歌唱です。校歌および教科書に掲載されている曲を中心に練習し、前期・後期それぞれで実技テストを行います。実技テストは個別に行いますので、安心して受講してください。
	音　楽　Ⅱ	「音楽Ⅱ」では、日本の伝統芸能（雅楽・歌舞伎・文楽・民謡・郷土芸能等）を中心に学びます。後期は世界の諸民族音楽やポピュラー音楽にも親しみ、生涯学習として音楽を楽しんでいく姿勢を養うことを目標としています。また、コードや音程などの音楽に関する諸規則（楽典）についても学習します。実技は教科書に載っている曲の歌唱とウクレレの演奏を行う予定です。
	書　道　Ⅰ	小・中学校の書写を基盤に、芸術としての書道を勉強します。理論と実技で授業を進めていきます。書道用具は各自準備し、毎回必ず持参してください。（小・中学校で使用していたもので可。）書道の歴史や古典、楷書・行書・仮名・漢字仮名交じりの書・篆刻・実用書等、書道の基礎を１年を通して学びます。書道未経験者も心配せずに受講してください。
	書　道　Ⅱ	「書道Ⅰ」と同じく、理論と実技で授業を進めていきます。書道用具を毎回必ず持参してください。楷書・行書・草書・篆書・隷書・仮名・創作・篆刻・実用書・書道史を１年間を通して学びます。理論も実技も「書道Ⅰ」より内容が詳しくなります。興味がある人はぜひ受講してください。
外国語	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅠを修得（履修）した後、受講できます。語彙は増え、文法や長文の難易度は上がりますが、広く深く英語を学習することができます。興味のある人はぜひ受講してください。
	英語コミュニケーションⅢ	英語コミュニケーションⅡを修得（履修）した後、受講できます。語彙や文法事項、長文読解の量と内容は更にレベルアップします。英文を書く、声に出して読む、生徒間で英語でやり取りする場面、発表活動も取り入れています。英語の表現力をもっと高めたい人はぜひ受講してください。理解を深めるために、予習・復習をしっかり行ってください。
	論理・表現Ⅰ	半期の科目です。様々なテーマに関する言葉や表現、文法を学びます。また、例文を参考にして文章を書きます。この科目を修得（履修）した後、次年度以降、論理・表現Ⅱを受講することができます。
	論理・表現Ⅱ	半期の科目です。論理・表現Ⅰを修得（履修）した後、受講できます。様々なテーマに関する言葉や表現、文法を学びます。また、例文を参考にして、より長い文章を書きます。
商業	ビジネス基礎	経済や企業活動のしくみを学び、商品やサービスの流れを理解するとともに、社会で役立つ知識、技術、ビジネスマナーなども身につける科目です。
	ビジネス法規	ビジネスに関する法規について学習します。日常生活において知っておくと役に立つ基本的な法律についても学習し、社会人として知っておくべき知識を習得します。
	簿　記	会社やお店のお金の流れを記録・整理する方法を学ぶ科目です。経営の状況を数字で正しく把握し、将来の会計・経理の仕事やビジネス全般に役立つ基礎力を養います。
	情報処理	ビジネスにおける情報の役割と、情報を処理する道具としてのコンピュータの特性を活用するための基礎知識を学習します。
家庭	保育基礎	保育の領域をより深く学習する科目です。子どもの発達や保育の必要性などについて、保育者の視点から考え学んでいきます。造形表現の一環として折り紙製作もあります。
	フードデザイン	食の領域をより深く学習する科目です。健康で豊かな食生活をおくるために、栄養・食品・献立・調理・テーブルコーディネートなどについて学びます。第６回のレポートは、家庭での調理実践を写真をつけて報告してもらいます。また、箸袋の製作等も行います。

教科	科　目	学　習　内　容
公民	倫　理	「公共」を履修したのちに受講できる科目（2単位）です。「倫理」は、私たちが生きていくうえで、切実だが、誰も正解を教えてくれない問いに対処するため、自らの「考える」力を培う科目です。どの時代や社会にも、それ特有の課題があり、それに立ち向かい、考え抜いた人々がいます。彼らが格闘した種々の問いと、それらに対して彼らがどのような回答を試みたのかを学ぶなかで、自ら考える力を鍛えていきます。そうすることが、人間としてのあり方や生き方を模索する手がかりを見いだすことにつながるからです。現代社会は、多くの課題に直面しています。今日に至るまで解決されていない歴史的課題もあります。自ら鍛えた考える力を武器に、こうした難問にも立ち向かっていきましょう。
	政治・経済	「公共」を履修したのちに受講できる科目（2単位）です。日本の政治のしくみはどうなっているのか、日本経済が成長するためには何が必要か、国際平和を実現するにはどうすればよいか。こうした課題を具体的に追究していくなかで、政治や経済に関する知識・概念や「視点や方法」を身につけていきます。そのうえで、自分自身に立ち返り、よりよい社会を形成するために自分にできることを構想し、実践していくことができるように、「公共」で身につけた「視点や方法」を活かしつつ、政治・経済に対するより深い理解のもと、より実践的な解決策を探究していきます。
数学	数　学　Ⅱ	主な学習内容は、次の通りです。 1．方程式・式と証明　　2．図形と方程式　　3．三角関数　　4．指数関数・対数関数 5．微分と積分 数学Ⅰの内容をより深く掘り下げ、複雑な事象を数学的に考察し、表現する力を養う科目です。将来、大学への進学を考えている生徒、特に理工系や経済系の大学・学部を志望する生徒は、ぜひ履修を検討してください。
	数　学　A	主な学習内容は、次の通りです。 1．場合の数と確率　　2．約数と倍数、最大公約数と最小公倍数、ユークリッドの互除法 場合の数についての基本的な考え方や、それを元に確率の意味や基本的な法則について学びます。また整数に関する基本的性質を学ぶ内容です。
	数　学　B	主な学習内容は、次の通りです。 1．数学と社会生活　　2．数列 社会生活において、直感や勘に頼っていた事を数学的分析により客観的に判断することを学びます。　数列の性質を学び、数学の記号を用いて表し分析することを学びます。
理科	科学と人間生活	物理・化学・生物・地学の各分野について、人間生活とのかかわりについて学びます。 この科目を修得すれば、理科の基礎科目をあと一つ修得（履修）することで理科の必履修を満たします。
	化学基礎	物質を構成する粒子とその性質・特徴を学びます。また化学結合や化学反応などを扱い、物質の性質やその変化の基礎を学びます。
	生物基礎	細胞から生態系まで生物の基礎的な内容を幅広く学習する科目です。
	地学基礎	宇宙の進化、太陽系と惑星、地層、生命の変遷、大地・地震・火山、大気・海洋と自然環境・防災について、その基礎的な内容を幅広く学びます。
	化　学	化学基礎の内容をさらに発展させ、より専門的に学びたい生徒向けの科目です。無機や有機の物質、反応のしくみなどを学びます。理工系や医療系、農学系、環境系など幅広い分野への理解や進路につながります。
	生　物	生物基礎の内容を発展させて、より深く学びます。生命現象をミクロ（分子生物学）からマクロ（生態系）まで幅広く扱う内容で、医療系、生命科学系、栄養系の大学への進学を考えている人向けです。

2027年度　開講予定科目一覧

※必履修欄 ○は必履修科目、△は選択必履修科目、空白は選択科目。
※原則として修得した科目を再び履修することはできません。
※各科目毎に詳細な受講条件があります。担任の先生と相談しながら来年度の受講科目を考えましょう。
※下記の科目は2027年度開講予定ですが、一部の科目で開講できない場合もあります

教科	科目	単位	必履修	期間	最低面接時数	教科書	受講条件	備考
国語	現代の国語	2	○	前・後	2			「現代の国語」と「言語文化」の両方を修得（履修）すれば国語の必履修を満たす。
	言語文化	2	○	前・後	2			
	文学国語	4		通年	4		「現代の国語」と「言語文化」を修得（履修）後に受講できる。	
	古典探究	4		通年	4	変更	「現代の国語」と「言語文化」を修得（履修）後に受講できる。	
歴地理史	地理総合	2	○	前・後	4			「地理総合」と「歴史総合」の両方を修得（履修）すれば地理歴史の必履修を満たす。
	歴史総合	2	○	前・後	4			
	地理探究	3		通年	6	変更	「地理総合」修得（履修）後に受講できる。	
	日本史探究	3		通年	6	変更	「歴史総合」修得（履修）後に受講できる。	
	世界史探究	3		通年	6	変更	「歴史総合」修得（履修）後に受講できる。	
公民	公共	2	○	前・後	4		２年次以降受講できる。	「公共」を修得（履修）すれば公民の必履修を満たす。
	倫理	2		前	4	変更	「公共」修得（履修）後に受講できる。	
	政治・経済	2		後	4	変更	「公共」修得（履修）後に受講できる。	
数学	数学Ⅰ	3	○	通年	3			「数学Ⅰ」を修得（履修）すれば数学の必履修を満たす。
	数学Ⅱ	4		通年	4	変更	「数学Ⅰ」修得（履修）後に受講できる。 被服科は受講できない。	
	数学A	2		前・後	2		「数学Ⅰ」修得（履修）後に受講できる。	
	数学B	2		前・後	2	変更	「数学Ⅰ」修得（履修）後に受講できる。	
理科	科学と人間生活	2	△	前・後	8			「科学と人間生活」と「生物基礎」「化学基礎」「地学基礎」の中から１科目を修得(履修)する。 または、「生物基礎」「化学基礎」「地学基礎」３科目すべてを修得（履修）すれば、理科の必履修を満たす。
	生物基礎	2	△	前	8			
	化学基礎	2	△	前・後	8			
	地学基礎	2	△	後	8			
	生物	4		通年	16	変更	「生物基礎」修得（履修）後に受講できる。 2026年度以降の入学生は受講できない	
	化学	4		通年	16	変更	「化学基礎」修得（履修）後に受講できる。 2026年度以降の入学生は受講できない	
体保育健	体育１	2	○	通年	10		体育１・体育２・体育３の順に受講する。	
	体育２	2	○	通年	10			
	体育３	3	○	通年	15			

教科	科　　目	単位	必履修	期間	最低面接時数	教科書	受　講　条　件	備　　考
体保育健	保健①	1	○	通年	1		保健①・保健②の順に受講する。	
	保健②	1	○	通年	1			
芸術	音楽Ⅰ	3	△	通年	12		２年次以降受講できる。	「音楽Ⅰ」「書道Ⅰ」いずれか１科目を２単位修得（履修）すれば芸術の必履修を満たす。 「美術Ⅰ」または「工芸Ⅰ」を２単位修得（履修）していれば芸術の必履修は満たす。
	書道Ⅰ	3	△	通年	12		２年次以降受講できる。	
	音楽Ⅱ	3		通年	12	変更	「音楽Ⅰ」修得（履修）後に受講できる。	
	書道Ⅱ	3		通年	12	変更	「書道Ⅰ」修得（履修）後に受講できる。	
外国語（英語）	英語コミュニケーションⅠ	3	○	通年	12			「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ」を修得（履修）すれば英語の必履修を満たす。
	英語コミュニケーションⅡ	4		通年	16	変更	「英語コミュニケーションⅠ」修得（履修）後に受講できる。 被服科は受講できない。	
	英語コミュニケーションⅢ	4		通年	16		「英語コミュニケーションⅡ」修得（履修）後に受講できる。 被服科は受講できない。	
	論理・表現Ⅰ	2		後	8	変更		
	論理・表現Ⅱ	2		前	8	変更	「論理・表現Ⅰ」修得（履修）後に受講できる。	
家庭	家庭総合	4	○	通年	12		「家庭基礎」２単位修得後は受講できない。	「家庭総合」または「家庭基礎」を修得（履修）すれば家庭の必履修を満たす。
情報	情報Ⅰ	2	○	前･後	4		２年次以降受講できる。	「情報Ⅰ」を修得（履修）すれば情報の必履修を満たす。
商業	簿記	4		通年	8		被服科は受講できない。	
	ビジネス基礎	4		通年	8			
	情報処理	4		通年	8		３年次以降受講できる。 「情報Ⅰ」修得（履修）後の受講が望ましい。 被服科は受講できない。	
	ビジネス法規	4		通年	8			
家庭	保育基礎	4		通年	12	変更	「家庭総合」４単位または「家庭基礎」２単位修得（履修）後、３年次以降受講できる。 被服科は受講できない。	
	フードデザイン	4		通年	12	変更	「家庭総合」４単位または「家庭基礎」２単位修得（履修）後、３年次以降受講できる。 被服科は受講できない。	
総合的な探究の時間		3	○	通年	4		３年次以降受講できる。できるだけ３年次に受講する。 「総合的な探究」２単位以下修得は、必ず受講する。	被服科は、「課題研究」にて代替するため受講しない。

令和9年度　三修生（三年修業制度）を希望する人へ

通信制高校の場合4年修業が基本ですが、学習状況、出席状況が良好な生徒には3年修業（三修）の制度があります。三修が認められれば、通常6コマ（科目）の受講が、日曜・月曜合わせて9コマ（科目）まで受講でき、卒業に必要な単位を3年間で修得できます。ます。条件を満たす生徒で、希望者は『三修願』を提出してください。

【三修条件】
①出願する年度の3月31日現在、本校に在籍しており、3年間で卒業を志す者。
（3年次でも日月併修することによって、卒業の条件を満たすことが見込まれる生徒も対象です。）
②出願する年度の受講科目を全て修得していること。
③学習意欲が旺盛で、出願する年度の評定平均が3.5以上、リポートの期限切れ回数（評価“D”）が全体の15%以下であること。※募集人員は40名程度です。

三修を希望する生徒は、以下の日程で説明会を行いますので参加してください。
【説明会の日程・場所】

佐賀課程	11月29日（日）	16：15～	通信図書室
唐津課程	11月29日（日）	〃	唐津西高校通信制職員室
月曜課程	11月30日（月）	〃	通信図書室

・上記ＩＳでの説明会に都合がつかない人は、担当職員（石井、江頭）か担任に連絡してください。
ⅡＳ（12月6日、7日）の放課後で対応します。

11月ＩＳ　ＬＨＲ　人権・同和教育講演会のお知らせ

私たちの身の回りには、さまざまな立場や考え方、生活の背景があります。一人ひとりが安心して自分らしく生活していくためには、社会にある差別や偏見について知り、その本質を理解するとともに、相手の立場に立って考えることが大切です。
今回の講演会では、「進路保障」という視点から学びを深めます。差別や家庭の状況、地域の固定観念などによって進路の選択肢が狭められることなく、一人ひとりが自分の可能性を信じ、自分の意思で進路を選択・決定していくことについて考えます。
これからの自分の生き方や進路について考える機会として、ぜひ参加してください。

	佐賀課程	唐津課程	月曜課程
期日	11月8日（日）	11月8日（日）	11月9日（月）
時間	13:15～14:05		
会場	佐賀北高校各教室（リモート配信）	唐津西高校各教室（リモート配信）	佐賀北高校各教室（録画）
講師	佐賀県教育センター指導主事　吉田竜真　先生		

（出席者には出校1日、特別活動時数1時間が認定されます。）

進路関係の連絡
（大学受験予定の生徒の皆さんへ）

◎一般入試出願説明会

日　時：12月4日（金）
　　9:30～10:30終了予定
場　所：通信図書室

※**一般入試での大学受験を考えている生徒は必ず参加して下さい。**出願の方法等について説明します。

「スクールカウンセラーの先生の相談」について（ご案内）

気軽に悩みを相談してみませんか？（生徒だけ、または保護者だけでも可能です。）

□期日：11月13日（金）13:30～16:30
□場所：佐賀北高校通信制保健室
□ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ（SC）：青山　のぞみ先生

※希望される場合は、スクールカウンセラー係（白濵）まで連絡ください。
連絡先：通信職員室　0952（29）4189